

(様式1)

環境配慮検討書

令和3年12月14日

三重県環境調整システム推進会議 会長 様

伊賀農林事務所長

三重県環境調整システム推進要綱第4条の規定に基づき提出します。

対象事業の名称	高度水利機能確保基盤整備事業 諏訪地区	
連絡先	担当課名	伊賀農林事務所 農村基盤室 農村計画課
	電話番号	0595-24-8126

1 事業の計画の名称、目的及び内容

(1)名称	諏訪地区		
(2)目的	<p>本地区の農用地は、ほ場整備未実施であり、また中山間部の傾斜地に位置していることから、農地は狭隘・不整形、道路も狭幅で接道していない農地も多く、現況用排水路はU字溝程度のコンクリート水路と土水路である。</p> <p>また、高齢化や後継者不足が進行する中で、地域の営農を守っていくため地域の努力により農地の集積が進められているが、農業基盤が未整備で効率的な農業が困難であることから、さらなる農地の集積が妨げられ、集積率の維持も困難な状況にある。</p> <p>このため、本事業で区画整理を実施することにより、生産性の向上を図るとともに、担い手である農事組合法人への農地利用集積の促進を図り、地域農業の持続的な発展や活性化に資する。</p>		
(3)事業主体	三重県		
(4)計画内容	①計画地の位置 ※位置図を添付すること	三重県伊賀市諏訪、音羽	
	②建物・施設等の概要 (用途、規模、面積、配置等) ※配置図を添付すること	整地工 A=20.9ha 道路工 L=4.6km B=4.00m 用水路工 L=5.6km 排水路工 L=2.1km	
	③用水の使用計画	かんがい期間：5月1日～8月21日、113日間 水源：一級河川払子川、渓流水	
	④エネルギーの使用計画	なし	
	⑤雨水、汚水の排水計画	雨水：開水路により一級河川払子川に流下させる 汚水：なし	
	⑥道路・交通計画	区画整理に伴い、幅員4.0mの農道を再配置する。 農道は、砂利舗装を行う。	
	⑦工期	㊦着工の予定時期 ㊧完工及び供用開始の予定時期	・着工：令和4年4月頃予定 ・完工：令和10年3月頃予定 ・供用：令和6年4月頃～令和10年4月頃予定
(5)関連事業計画	なし		
(6)その他	なし		

2 計画地の社会的条件の現況等

(1)計画地の社会的条件の現況	① 交通の現況	地区周辺には国道422号三田坂バイパス及び広域農道が通っており、都市部へのアクセスが良好である。計画地区内の農道は幅員が2.0m程度と狭く、大型機械の通行が困難な状況である。
	②土地利用の現況	農振区域の農用地であり、主に水田、畑である。
	③水域利用の現況	水域利用はない。
	④生活関連施設の現況	a.学校施設：なし b.医療施設：なし c.公共施設：地域住民の集会所として、市民センターがある。 d.文化施設：なし
(2)関係法令等による地域の指定・規制状況	①自然環境保全地域等の指定状況	自然環境保全地域（地区）、自然公園地域（区域）、鳥獣保護区の指定状況 a.自然環境保全地域：なし b.自然公園区域：なし c.鳥獣保護区域：なし d.鳥獣保護区域特別保護区：なし
	②土地利用規制の現況	都市計画法、農業地域振興法、森林法等の規制状況 a.都市計画法：なし b.農業地域振興法：農業振興地域、農用地区域 c.森林法：なし d.砂防法：なし e.地すべり防止法：なし f.急傾斜地災害防止法：なし g.河川法：規制あり（一級河川払子川） h.漁港法：なし i.海岸法：なし j.文化財保護法：なし（初年度調査予定） k.景観法：なし

3 計画地の自然的条件の現況

(1)地形・地質	文献調査	文献名	農地中間管理機構関連農地整備事業 諏訪地区 実施計画書	
	現地調査の有無	有・ <input type="checkbox"/> 無	(実施日時)	聴取調査の有無 有・ <input type="checkbox"/> 無
	調査結果等	本地域の土壌は、灰色土壌壤土型のほか、礫質土壌砂土盤層型、グライ土壌壤土型、灰褐色土壌壤土型のエリアがある。		
(2)水象	文献調査	文献名	高度水利機能確保基盤整備事業 諏訪地区実施計画書	
	現地調査の有無	有・ <input type="checkbox"/> 無	(実施日時)	聴取調査の有無 有・ <input type="checkbox"/> 無
	調査結果等 ① 河川、湖沼	一級河川払子川の右岸のほか、谷地田に位置する水田である。		
	② 海域	なし		
(3)気象・大気質等	調査の方法	気象庁データ（上野観測所 明治30年～令和元年）		
	調査結果	気温：日最高気温38.8℃（昭和17年8月2日） 日最低気温-9.6℃（昭和45年1月29日） 降水量：最大日雨量286.70mm（昭和28年8月14日） 最多風向：不明 風速：日最大25.9m/s南西（平成10年9月22日） 大気質：不明 水質：不明 騒音：不明 振動：不明		
(4)生態系等	文献調査	文献名	農地中間管理機構関連農地整備事業 諏訪地区 実施計画書	
	現地調査の有無	<input type="checkbox"/> 有・無	(実施日時 R2.5.27、 R2.6.11、R2.10.2、R2.11.1)	聴取調査の有無 有・ <input type="checkbox"/> 無
	調査結果等 ①植物	植生の概要： アオカモジグサ、アカノユウゲシヨウ、アキノタムラソウ、アゼスゲ、アゼムシロ、アブラガヤ、アリノトウグサ、イグサ、イタドリ、イチゴツナギ、イトトリゲモ、イナカギク、イヌキクイモ、イボクサ、ウキクサ、ウツギ、ウツボグサ、エゾノギシギシ、オオイヌタデ、オオケドン、オオスズメノカタビラ、オカオグルマ、オギ、オシナシゴウソ、オニウシノケグサ、オニスゲ、オヘビイチゴ（五枚葉）、オミナエシ、カサスゲ、カナビキソウ、カニツリグサ、ガマ、カモジグサ、カラムシ、カワラマツバ、ギシギシ、キショウブ、キセルアザミ、キツネノボタン、クサヨシ、クルマバナ、クロカワスゲ、ケネグサ、コアジサイ、コナギ、コヌカグサ、コマツナギ、ササユリ、サトメシダ、シャジクモ類、ショウジョウバカマ、シラコスゲ、シラヤマギク、シロツメグサ、シロツメクサ、スイバ、スズメノテッポウ、スラ、セキショウ、セクラシダ、セリ、センニンソウ、ソクシンラン、タウコギ、タケニグサ、タチカモジグサ、タツナミソウ、タニガワスゲ、チダケサシ、ツボスミレ（白い花）、ツリガネニンジン、テイカカヅラ、ドグダミ、ドジョウツナギ、トボシガラ、ニガイ、ニガナ、ニワフジ、ノアザミ、ノタケ、ノダケ、ハリガネスゲ、ヒエガエリ、ヒメシダ、ヒメシダノ、ヒメミズワラビ、フトヒルムシロ、ホシトクタデ、ホソバ、ホソバミズヒキモ、ホタルフクロ、マツバノスゲ、ミゾイチゴツナギ、ミソハギ、ミゾハコベ、ミナミグサ、ミヤコグサ、ミヤマシラスケ、ミヤマシラスゲ、ムラサキサギゴケ、メコハギ、ヤクシソウ、ヤナギタデ、ヤブタバコ、ヤマイヌワラビ、ヤマスカボ、ヤマスズメノヒエ、ヨソナ、ヨツバムグラ、ヨツバムラグラ、リンドウ、ワラビ		

	<p>貴重な植物個体： オカオグルマ（三重県準絶滅危惧種）、ササユリ（三重県準絶滅危惧種）</p> <p>貴重な植物群落：なし</p>
②動物	<p>動物相の概要：</p> <p>【昆虫類】</p> <p>アオイトトンボ、アキアカネ、アゲハチョウ、アサヒナカワトンボ（幼・成）、ウスイロササキリ、ウスバキトンボ、オオシオカラトンボ、オオルリボシヤンマ、オオルリボシヤンマ（ヤゴ）、オジロサナエ（ヤゴ、目視）、オナガササキリ、オニヤンマ（ヤゴ）、ガムシ類（小さい）、キイトトンボ（ヤゴ）、キタキチョウ、キタテハ、キトンボ、ギンヤンマ、クロイトトンボ、クロイトトンボ（成・池）、コオイムシ、コガムシ、コシマゲンゴロウ、コノシメトンボ（ヤゴ）、コバネイナゴ、コミズムシ、シオカラトンボ（成、ヤゴ）シオヤトンボ、シマアメンボ、シヨウリョウバツタ、ツマグロヒョウモン、トビケラ、ナツアカネ（成、ヤゴ）、ナベブタムシ、ニホンカワトンボ、ネキトンボ、ノシメトンボ（成、ヤゴ）、ハイイロゲンゴロウ、ハラビロトンボ、ヒメアカタテハ、ヒメアカネ、ヒメカマキリ、ヒメガムシ、ヒメゲンゴロウ、フタスジサナエ（ヤゴ）、ベニシジミ、ホソミオツネントンボ、マツモムシ、マユタテアカネ、マルガタゲンゴロウ、ミズカマキリ、ミスジチョウ、ミルヤンマ（ヤゴ）、ミルンヤンマ（ヤゴ）、モートンイトトンボ、モノサシトンボ、モンキチョウ、モンシロチョウ、ヤマサナエ（ヤゴ）、ヤマトシジミ、</p> <p>【魚類】</p> <p>カワヨシノボリ、ドジョウ、ホトケドジョウ</p> <p>【両生類・は虫類】</p> <p>アオダイショウ、アカハライモリ、アマガエル、シマヘビ、シュレーゲルアオガエル（成、幼）、ツチガエル、トノサマガエル、ニホンアマガエル、ニホンイシガメ、ニホンカナヘビ、ニホンマムシ、ヌマガエル、ヒバカリ、ヤマカガシ</p> <p>【甲殻類】</p> <p>サワガニ</p> <p>【貝類】</p> <p>カワニナ、マルタニシ、モノアラガイの1種</p> <p>貴重な動物： モートンイトトンボ（三重県絶滅危惧Ⅱ類）、コガムシ（三重県準絶滅危惧種）、コオイムシ（三重県準絶滅危惧種）、アキアカネ（三重県準絶滅危惧種） ホトケドジョウ（絶滅危惧Ⅱ類）、 マルタニシ（絶滅危惧Ⅱ類）、モノアラガイ（三重県準絶滅危惧種） ドジョウ（環境省準絶滅危惧種）、アカハライモリ（環境省準絶滅危惧種）、トノサマガエル（環境省準絶滅危惧種）、ニホンイシガメ（環境省準絶滅危惧種）</p>

(5)自然景 観・文化 財等	文献調査	文献名	伊賀市田園環境マスタープラン（上野市）		
	現地調査の有無	有 ・ <input type="checkbox"/> 無	(実施日時)	聴取調査の有無	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	調査結果等 ①自然景観	<p>自然景観の概要： 伊賀市田園環境マスタープラン（上野市）で環境配慮として位置づけ、生産基盤としてその維持・保全を行っている。</p> <p>貴重な自然景観：なし</p>			
	②文化財、史跡、名勝等	<p>史跡・名勝・天然記念物：なし</p> <p>埋蔵文化財包蔵地：周辺地域に向山中世墓、伊戸河氏城跡、井岡瀬之助城跡、今岡氏城跡にあり、初年度に調査予定</p>			
③野外レクリエーション 他	なし				
(8)その他、 自然災害 等	なし				

4-2 事業計画の検討内容（複数案比較が実施できない場合）

複数案比較が実施できない理由	本事業は、生産性の向上を図るとともに、担い手への農地利用集積の促進を図り、地域農業の持続的な発展や活性化に資する事業であり、事業実施要綱要領上の制約があるため比較検討は行っていない。
----------------	---

※環境配慮事項ごとに、環境配慮度を◎○ーで記入し、その配慮の内容及び配慮度の評価の理由を記入すること。

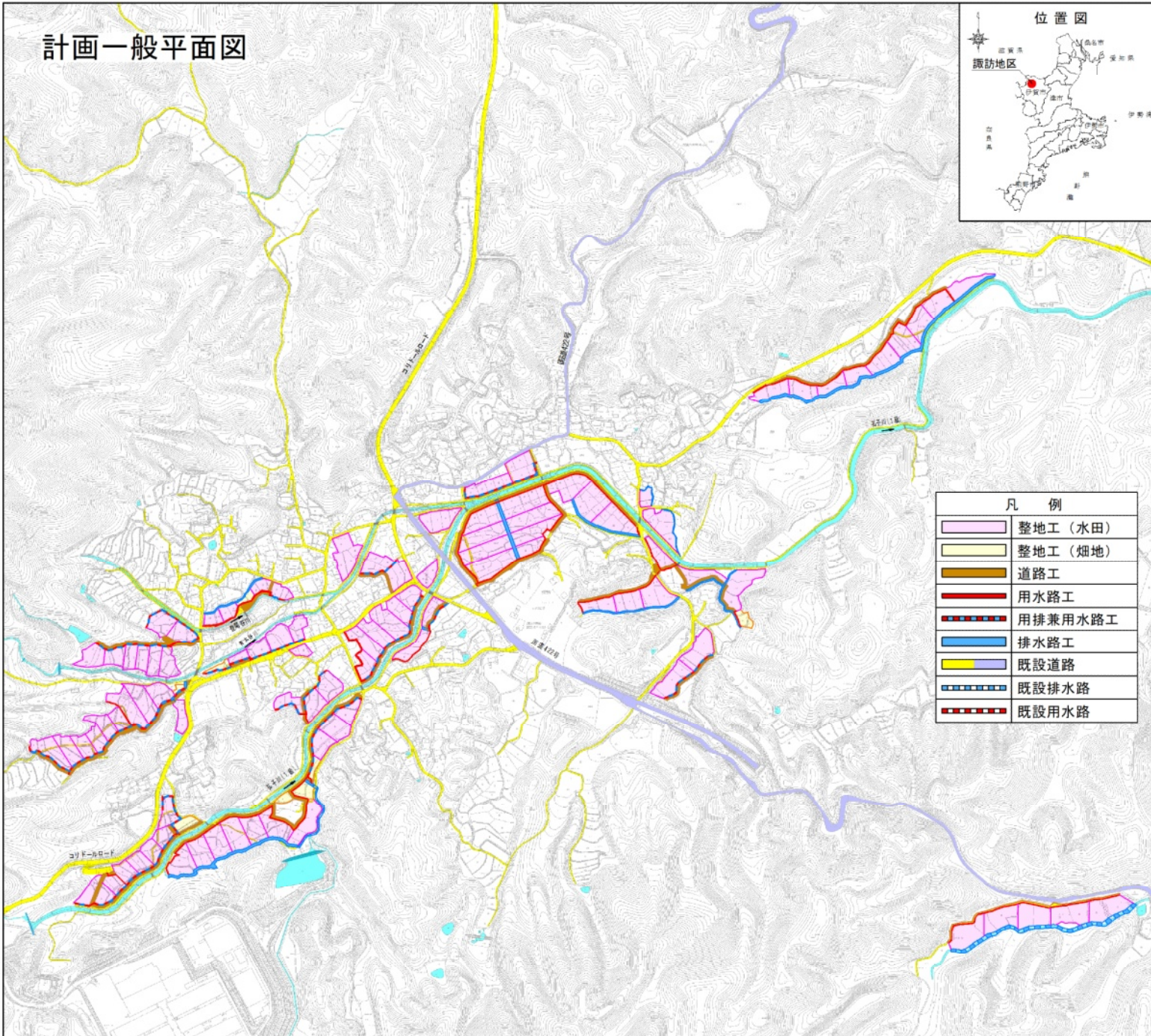
環境配慮技術指針の配慮目標 ①循環を基調とした持続的発展が可能な社会の構築 ②人と自然が共にある環境の保全 ③やすらぎとうるおいのある快適な環境の創造	環境配慮度 ◎：十分配慮している。 ○：配慮している。 ー：特に配慮する必要がない。
--	---

技術指針に基づく環境配慮事項	環境配慮度	環境配慮の内容 (一の場合は、無記入でも可)	配慮度の評価の理由
①-1 地球温暖化防止	○	事業実施前後で温暖化への影響に変化はない。	
①-2 廃棄物対策	○	事業実施前後で廃棄物の排出量に影響はない。なお、工事による発生材は三重県建設副産物処理基準に基づき適切に処分する。	可能な限りリサイクルを行うことができる
①-3 生活環境の保全	○	事業実施前後で生活環境への影響はない。なお、工事に際しては低騒音低振動型建設機械の使用に努める。	周辺環境への騒音・振動の低減ができる
①-4 その他重点事項	ー		
②-1 野生生物等の生育空間の確保	○	事業実施後で区画形状の変更はあるものの、整備後も田畑として利用するもので、生育空間は確保される。	現状改変の最小化
②-2 希少な野生生物の保護	○	移植や移動を中心に検討する。	生物に配慮した対策をするため
②-3 地形、地質等の改変の抑止	○	1筆あたりの農地区画は拡大されるが、現状の高さにできるだけ合わせる区画形状を計画し、切盛土量のバランスを整えることで、地形の改変を最小に抑える。	地形改変の最小化
②-4 その他重点事項	ー		
③-1 緑化、周辺景観との調和	○	事業実施前後も農地として利用されるため、周辺環境と調和した農村風景が維持される。	農業農村空間の維持
③-2 親水等、ふれあい空間づくり	○	事業により耕作放棄が防止されることから、農村環境が維持される。	農村環境の維持
③-3 その他重点事項	ー		
④上記以外の特記事項	ー		

5-2 事業計画案の環境配慮に係る評価

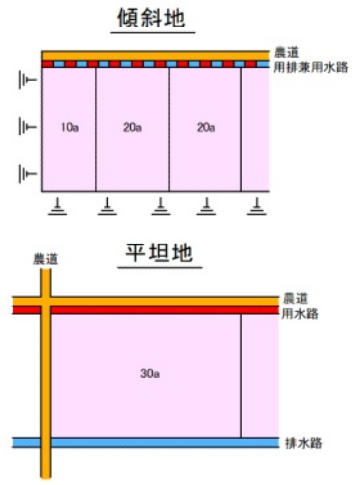
従来の事業等と比較して優れている点	本事業が実施されることから、耕作放棄地が防止され、農業活動の維持が図られ、水源涵養効果、災害防止効果などの農業農村環境がもつ多面的な効果が期待される。
今後の課題	地区内には、希少生物が確認されており、工事にあたり工法等（水路壁面のスロープや魚巢ブロックの設置等）の検討・調整が必要となる。
会議での調整を要する事柄	

計画一般平面図



凡 例	
	整地工 (水田)
	整地工 (畑地)
	道路工
	用水路工
	用排兼用水路工
	排水路工
	既設道路
	既設排水路
	既設用水路

標準区画割図



標準工法図

